

ダイバーシティ社会推進、男女共同参画、ユニバーサルデザインに関するアンケート

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
ダイバーシティ社会推進課	2022年02月16日から 2022年03月02日まで	1179	748	63%

今回は、ダイバーシティ社会推進課、地域福祉課からのアンケートです。ダイバーシティ社会推進課では、性別、年齢、障がいの有無、国籍・文化的背景、性的指向・性自認など多様性を認め合い、誰もが希望を持って、挑戦し、参画・活躍できるダイバーシティ社会の実現に向けて取組を進めています。

また、一人ひとりが性別にかかわらず、家庭や地域、職場において、能力と個性を十分に発揮できる「男女共同参画社会の実現」をめざし、さまざまな取組を行っています。

今後のダイバーシティ社会の推進や男女共同参画の実現に向けた取組に役立てるため、ご協力をお願いします。地域福祉課では、周囲の方に配慮や援助を求める「ヘルプマーク」の普及啓発に取り組むとともに、だれもが、自由に移動し社会参加できる「ユニバーサルデザインのまちづくり」を推進しています。

ユニバーサルデザインやヘルプマークに関する皆さんの意識を調査し、今後の取組に役立てるため、ご協力をお願いします。

<参考>

関連する三重県のホームページ

- ・ダイバーシティ社会推進 <https://www.pref.mie.lg.jp/common/01/ci400013451.htm>
- ・男女共同参画 <https://www.pref.mie.lg.jp/IRIS/HP/index.htm>

■ Q1 「ダイバーシティ」について 1

はじめに、ダイバーシティについてお聞きます。

あなたは、「ダイバーシティ」という言葉を知っていますか。「知らない」とお答えいただいた方は、Q3へお進みください。

合計	748	
知っている	410	54.8%
知らない	338	45.2%

■ Q2 「ダイバーシティ」について 2

Q1で「知っている」を選んだ方にお聞きます。あなたは、「ダイバーシティ」という言葉をどこで（何で）知りましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	410	
新聞	165	40.2%
書籍・雑誌	96	23.4%
テレビ・ラジオ	241	58.8%

インターネット	168	41.0%
職場・企業情報	127	31.0%
家族や友人の会話	22	5.4%
県からの情報（県政だよりみえやe-モニターなどを含む）	54	13.2%
その他	17	4.1%

■ Q3 ダイバーシティ社会の実現について

性別や年齢、障がいの有無、国籍等に関わらず、多様な人々が社会参画し、活躍できる社会「ダイバーシティ社会」の実現のために、さまざまな取組が必要であると考えます。これらの取組を県民の皆さんとともに進めるうえで、あなたは、県の取組として何を優先すべきであると思いますか。主なものを2つまで選んでください。

合計	748	
ダイバーシティの理解・共感	485	64.8%
教育	300	40.1%
世代、障がい、国籍・文化などを超えた交流	211	28.2%
暮らしにおける地域の支え合い	121	16.2%
あらゆる分野での女性の活躍	41	5.5%
就労環境の充実・働き方改革	191	25.5%
その他	15	2.0%

■ Q4 性のあり方の多様性について 1

次の言葉のうち、言葉も内容も知っているものはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

LGBT…レズビアン（Lesbian女性の同性愛者）・ゲイ（Gay男性の同性愛者）・バイセクシュアル（Bisexual両性愛者）・トランスジェンダー（Transgender出生届・戸籍上の性別とは違う性別で生きる人、生きたい人）の頭文字をとって組み合わせた総称。

性的指向…好きになる相手、性的対象が誰（同性・異性・両性）であるか。

性自認…自分の性別をどう認識するか。

SOGI…すべての人の性的指向（Sexual Orientation）・性自認（Gender Identity）を表す言葉。

合計	748	
LGBT	696	93.0%
性的指向	441	59.0%
性自認	288	38.5%
SOGI	83	11.1%
どれも知らない	38	5.1%

■ Q5 性のあり方の多様性について 2

あなたは、多様な性的指向・性自認やLGBTなどについて、これまで学んだことはありますか。「ない」と答えたお答えいただいた方は、Q7へお進みください。

合計	748	
ある	231	30.9%
ない	517	69.1%

■ Q6 性のあり方の多様性について 3

Q5で「ある」を選んだ方にお聞きします。あなたは、これまでどのような場で学んだことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	231	
学校の授業	45	19.5%
講演会や研修会への参加	90	39.0%
関連イベントへの参加	12	5.2%
マスコミ報道（新聞、テレビ）	137	59.3%
書籍	51	22.1%
支援団体等のホームページ	14	6.1%
当事者との交流会	22	9.5%
その他	29	12.6%

■ Q7 性別について

ここからは、男女共同参画についてお聞きします。
 男女の性別によるアンケート結果の分析のため、あなたの性別（自認する）をお答えください。
 なお、選択肢がない場合は回答不要です。

合計	743	
男性	372	50.1%
女性	371	49.9%

■ Q8 男女平等について（社会全体）

あなたは、社会全体（※）で、男女の地位が平等になっていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。
 ※家庭、地域、会社をはじめとするさまざまな場面をお考えください。

合計	748	
男性の方が非常に優遇されている	86	11.5%

どちらかといえば男性の方が優遇されている	412	55.1%
平等である	104	13.9%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	51	6.8%
女性の方が非常に優遇されている	8	1.1%
わからない	87	11.6%

■ Q10 「男は仕事、女は家庭」という考え方について

「男は仕事、女は家庭」のように性別によって役割を固定する考え方について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	748	
同感する（考え方に賛成）	12	1.6%
どちらかといえば同感する	149	19.9%
どちらかといえば同感しない	218	29.1%
同感しない（考え方に反対）	318	42.5%
わからない	51	6.8%

■ Q11 男女共同参画の推進について

あなたは、今後、男女共同参画を推進していくために、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	748	
男性の意識改革	527	70.5%
女性の意識改革	376	50.3%
男性の家事・育児への参画	412	55.1%
長時間労働の是正	345	46.1%
女性が活躍できる職場環境の整備	391	52.3%
女性の参画を進める必要はない	13	1.7%
その他	47	6.3%
わからない	31	4.1%

■ Q12 女性の働き方について（考え方）

あなたは、女性が結婚・出産した場合の働き方についてどのようにお考えですか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	748	
結婚するまでは働くが、その後は働かない方がよい	8	1.1%
妊娠・出産までは働くが、その後は働かない方がよい	9	1.2%
産前産後休暇や育児休業等を利用しながら、出産後も働き続ける（キャリアを継続する）方がよい	448	59.9%
妊娠・出産したら一旦退職し、子育てが落ち着いたら再び働く方がよい	163	21.8%
その他	74	9.9%
わからない	46	6.1%

■ Q13 女性の働き方についての理由

Q12で「妊娠・出産したら一旦退職し、子育てが落ち着いたら再び働く方がよい」を選んだ方にお聞きします。あなたは、なぜそのように考えますか。もっともあてはまるものを1つ選んでください。

合計	163	
配偶者の協力や理解が得られそうにないから（協力できないから）	5	3.1%
職場における育児休業制度等の支援制度が不十分だから（勤務時間も含め、仕事と育児を両立できないから）	35	21.5%
収入面で不安がなく、子どもが幼いうちは無理をして働く必要がないから	10	6.1%
保育園などの子どもの預け先がないから（保育環境が整っていないから）	4	2.5%
子どもが幼いうちは育児に専念したいから（専念した方がよいから）	98	60.1%
結婚や出産を機に退職する慣行があるから	3	1.8%
その他	8	4.9%
わからない	0	0.0%

■ Q14 「ヘルプマーク」の認知度について

「ヘルプマーク」は義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、作成したマークです。

あなたは、「ヘルプマーク」を見たことがあり、その意味をご存じですか。

[参考：ヘルプマークに関する三重県のHPアドレス]

https://www.pref.mie.lg.jp/UD/HP/20794012515_00001.htm

合計	748	
見たことがあり、示す意味を知っている	402	53.7%
見たことはあるが、示す意味は知らない	47	6.3%
見たことはないが、示す意味を知っている	183	24.5%
見たことがなく、示す意味を知らない	116	15.5%

■ Q15 「ユニバーサルデザイン」の意味及び関心について

「ユニバーサルデザイン」とは、障がいの有無や年齢、性別等に関わらず、最初からできるだけ多くの人が利用可能であるように施設、製品、制度等をデザインすることを言います。あなたは、「ユニバーサルデザイン」の意味を知っていましたか。また、関心はありますか。

合計	748	
意味を知っており、関心もある	403	53.9%
意味は知っているが、関心はない	122	16.3%
意味は知らなかったが、関心はある	173	23.1%
意味も知らなかったし、関心もない	50	6.7%

■ Q16 e-モニターアンケートに参加したご感想について

最後に、広聴広報課からお聞きします。
この1年間、e-モニターとしてアンケートにお答えいただき、三重県政を身近に感じていただけるようになりましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	748	
とても感じる	190	25.4%
どちらかと言えば感じる	458	61.2%
どちらかと言えば感じない	79	10.6%
全く感じない	10	1.3%
その他	11	1.5%